

湯沢CS通信

令和5年12月22日 第66号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

五校の第三回学校運営協議会の様子を紹介します。

山田小学校

十一月三十日(木)実施



テーマ 「教職員の任用等に関する事」「授業参観を通じた児童の様子」「百五十周年事業に関する事」

授業参観した委員から、「子どもたちはタブレットなどを使いこなし、楽しそうに授業に参加していた。機器の使い方に偏らないで情報モラルもしっかりと教えてほしい。」などの意見が出された。また、現在PTAが中心になって進めている百五十周年事業の準備について、学校運営協議会も全面的にバックアップしていくことを確認した。

湯沢南中学校

十二月五日(火)実施



テーマ 「二学期の学校運営」「前回の会議からの継続協議事項」「その他の情報交換」

湯沢西小学校と連携して行った「親子で参加ウォーキング&クリンアップ」について報告された。また、委員の一人である地域学校協働活動推進員である高橋さんが、地域学校協働活動推進員等研修会に参加して参考になった事例(学校の課題を学校運営協議会委員が積極的に参加して解決しようとしている取組)を報告した。

雄勝中学校

十二月六日(水)実施

テーマ 「二学期の取組の成果と課題」「その他の情報交換」

教頭から、雄中祭で委員の協力を得て地域の方の作品展を行った事例が報告された。また、地域と共同で行う防災教室で講師にどんな話をしていただくか、踏み込んだ議論が交わされた。さらに、「ねらい達成のために、防災教室を点で終えることなく、雪が消えてから現地に出向くなどの活動を計画してほしい」という意見も出された。

稲川小学校

十二月八日(金)実施

テーマ 「二学期の成果と課題」「協議題以外の情報交換」

校長から、運動会や学習発表会に多くの地域の皆さんの参加があり大盛況であったこと、それに伴って駐車場のことが課題として残ったという報告があった。委員から「駐車場に関しては、各方面に働きかけて解決できそうである」という提案があった。「地域の皆さんは小学校の行事に関心があるので、規模を縮小しないで行事を行ってほしい」という提案もあった。

山田中学校

十二月十五日(金)実施

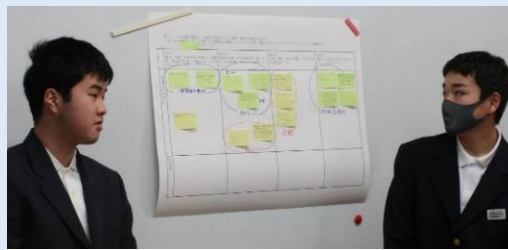
テーマ 「発表会を参観しての生徒の様子」「教職員の任用等に係る意見等」「統合に際した学校課題の解決」

授業を参観した委員から、「機器を使った発表はよかったが、SDGsというテーマが広すぎる。地域の『食』や『観光』に絞ってSDGsを追究することも考えられる」などの意見が出された。また、校長から学校統合までに解決したい課題(①生徒の地域貢献意識を高めたい②山田中の歴史を生徒の手で閉じさせたい)が示され、課題①について協議した。

CSのよさ発見（パート2）

皆瀬小・中学校の実践より

十二月四日（月）、皆瀬小・中学校ではそれぞれで学校運営協議会を開いた後に、合同の会議で熟議を行いました。テーマは「保・小・中と地域が連携して実施する体育的イベントの取組、運営の可能性について」です。はじめに小学校五年生と中学校二年生がそれぞれ体育的行事（運動会・体育祭）に対する思いを説明し、それを受けて四つのグループに分かれて熟議を行いました。中学校二年生が全員熟議に参加して、司会をしたり主体的に発言したりしていました。三つの案（A「保育園と小学校の合同運動会」 B「保・小・中合同運動会」 C「保・小・中・地域合同運動会」）について、次の四つの視点からメリットとデメリットを考えて協議し、全体の前で中学生が報告しました。



グループ協議の報告をする生徒

視点1 園児、児童、生徒の思いや願い、保護者、地域住民の思いや願いが叶うものになるか

視点2 体育的行事に対する各団体（保・小・中・自治組織）のねらいの達成

視点3 企画、練習、前日の準備、片付けなどの運営面

視点4 視点1〜3以外のメリットとデメリット

今回の熟議は結論を出すために行われたものではなく、方向性を模索するための会です。今回のテーマは、学校の課題の解

決とともに地域の活性化に関わる大きな問題です。この後、学校運営協議会を中心にして議論がなされ、保育園、小学校、中学校それぞれのねらいの達成と地域の活性化につながるような体育的行事が行われることを願っています。

稲川中学校の実践より

稲川中学校ではE・Fゼミの活動（総合的な学習）として、地域の活性化に貢献することをねらいに、新商品（こまりんクッキー、稲中ブッセ、枝豆どらやきなど）を開発して、地域の業者の協力を得てそれらを商品化し、販売する活動を行いました。

このような活動を学校だけで進めるのはとても難しく、様々な団体に協力していただくとともに、学校運営協議会も全面的にバックアップしました。具体的には、次のような内容です。

- ・委員が、E・Fゼミ総会に参加して活動の全容を把握し、その後の学校運営協議会で活動の成功に向けて意見を交わした。
- ・委員が、地域の業者への働きかけの橋渡しをし、継続的な支援を受けることができた。

来年度以降も稲川中学校の特色ある教育活動として継続していくために、学校運営協議会の関わりに期待しています。



活動の一環でリンゴもぎをする生徒